

## 広島県立沼南高等学校卒業 津田裕樹さん(小林農場)



### 津田 裕樹（つだ ゆうき）さんの紹介

津田裕樹さん（19歳）は、県立沼南高等学校園芸デザイン科を卒業後、平成29年4月に福山市神村町の小林農場に就職就農しました。

沼南高等学校園芸デザイン科では、園芸技術類型に所属し、野菜や果樹の栽培について学びました。

小林農場では、沼南高校で学んだ農業の知識と技術を生かし、ナスやハクサイをはじめとする野菜苗の栽培管理や販売先への運搬などに関わっています。

### ○津田裕樹さんの就農までの道

農業高校  
(県立沼南高等学校)

就農  
(小林農場)

### 農業高校に入学しようと思ったキッカケは？ 農業を仕事にしようと思ったきっかけは？

非農家出身のため、高校へ入学するまでは農業経験はあまりなく、近所の農家で野菜を収穫する手伝いをしてもらいました。将来は体を動かせる農業関係の仕事をしたいという希望があり、沼南高校の卒業生や中学校の先生からの勧めもあって、沼南高校園芸デザイン科で農業について学ぶことに決めました。

### 高校で学んだことは？

沼南高校園芸デザイン科に入学し、果樹や各種野菜の栽培の基礎を学びました。2年次には園芸技術類型を選択し、3年次の課題研究では赤系ブドウであるゴルビーの果皮色の改善と糖度向上について研究しました。沼南高校園芸デザイン科での学習を通して、農作業の進め方のほか、コミュニケーション力、体力、忍耐力や集中力を身に付けることができました。

### 今の仕事の中でやりがいを感じることは？

農業の仕事は楽しいです。自分の考えや努力次第で、工夫や改善もできます。皆さんも、ぜひ後に続けてください。「鉢入れ」と呼ばれる小苗をポットに植え替える作業など、新しい仕事に挑戦できたり、上司の方から仕事に関わっているいろいろなお話を聞けたりするのも、やりがいを感じます。

仕事仲間とサイクリングもでき、ここでの仕事がますます充実してきています。



### 就農先の紹介

小林農場は、福山市神村町でナス、トマト、ハクサイ、キャベツ、ブロッコリーなど100種類以上の各種野菜苗やイネ苗などを栽培し、ホームセンターや農業団体などに出荷しています。ビニールハウス17棟を持ち、年間の出荷苗数は120万本を超えます。

小林農場のある福山市では、海沿いから山間部まであり、面積も広く、各種の農業がおこなわれています。正月に欠かせないクワイ、備後表に使うイグサも福山市で栽培されています。